

エコアクション21環境活動レポート (2013年1月～2013年12月実績報告)



2014年 4月20日 作成
協同組合ガスエアコン静岡サービスネット

1、組織の概要

(1) 事業所名及び代表者名

- ・事業所名 協同組合ガスエアコン静岡サービスネット
- ・代表者名 代表理事 辻村 勝
- ・所在地 〒435-0042 静岡県浜松市東区篠ヶ瀬町1369
- ・連絡先 TEL 053-465-0024 FAX 053-465-0025
E-mail gas_net_shizuoka@nifty.com

(2) 環境管理責任者

- ・環境管理責任者名 佐藤 貴裕
- ・連絡先 TEL 053-465-0024 FAX 053-465-0025
- ・実施体制 代表者 辻村 勝
- ・環境方針の策定
- ・環境目標及び環境行動計画の承認と指示
- ・環境への取組みを適切に実行する為の準備
- ・全体の評価と見直し
- ・環境管理責任者の任命

- 環境管理責任者 事務局 佐藤貴裕
- ・環境負荷の自己チェック”及び”環境への取組みの自己チェック
 - ・環境目標の作成と取組の実施
 - ・環境管理システム全体の構成、運用、維持管理責任者
 - ・環境経営システムの構成、運用、維持状況の代表者への報告

(3) 組織の沿革

平成15年3月	出資金3,000千円(4社)にて協同組合ガスエアコン静岡サービスネットを設立する
平成17年6月	組合員として1社加入 出資金3,750千円(5社)となる
平成17年9月	全国GHP連絡協議会会員となる
平成18年6月	出資金10,000千円とする
平成19年3月	ヤマハ発動機(株) ヤマハGHPサービス指定店となる
平成20年12月	組合員1社退会
平成21年4月	組合員1社加入(株式会社ガスエアコン静岡ネットワーク)
平成21年4月	出資金5,690千円とする

(4) 協同組合の概要

- ・主要関係団体名 静岡県中小企業団体中央会
- ・組合員名 組合員 東海冷熱工業株式会社
有限会社ハルシステムサービス
有限会社GHPサービストーカー
株式会社ガスエアコン静岡ネットワーク
- ・賛助会員数 11 社

(5) 事業内容

ガスエアコンの定期点検、修理業務、設置工事の共同受注・受注斡旋、共同購入、リビルト部品・リユース部品・その他GHP副資材・関連部品の販売

(6) 事業の規模

事業年度:1月1日～12月31日

活動規模	単位	2011年	2012年	2013年
売上高	百万円	65	54	46
従業員	人	3	3	3
床面積	m ²	96	96	96

2 対象範囲

- ・ 対象組織 協同組合ガスエアコン静岡サービスネット
- ・ 対象活動 ガスエアコンの定期点検、修理業務、設置工事の共同受注、受注斡旋共同購入、リビルト部品、リユース部品、その他GHP副資材・関連部材の販売

3、環境方針

《基本理念》

協同組合ガスエアコン静岡サービスネット(以下当組合という)は、冷暖房設備関連資材の販売活動の中で、環境保全に対する取組みを経営課題の一つと考え、組合員と一緒に、地球環境、資源の保護及び環境汚染防止に努めます。

《行動指針》

当組合は、冷暖房設備関連資材販売の事業活動において環境に与える影響を少なくする為に以下の「行動指針」を基に、組合員参加で具体的に模索、行動し継続していきます。

- 1、グリーン購入。
- 2、定期点検の実施を促進させ、機器の性能を安定させCO2の排出を軽減する。
- 3、当組合の活動、販売に関わる環境経営を常に認識し、環境汚染の予防を推進すると共に環境マネジメント活動の継続的改善を図ります。
- 4、当組合の活動、販売に関わる環境関連法令、規制、協定等の要求事項を遵守します。
- 5、当組合は、目的・目標設定を行いその定期的見直しを行う中で以下の項目を環境管理重点テーマとして取組みます。
 - ①定期点検の実施を確実にする為、エアクリナーの個数で機器台数を把握する。
 - ②廃棄物の削減(ガスエアコン部品のリサイクル促進)。
 - ③環境関連情報の提供。
 - ④水資源の削減

この方針は全従業員及び組合員に周知し、達成に努めます。

制 定 2012年7月1日
協同組合
ガスエアコン静岡サービスネット
代表理事 辻村 勝

4 環境目標

(1)環境経営システムの【環境への負荷】状況

【環境への負荷の状況(事業所)】

		単位	2011年	2012年	2013年
① 総エネルギー投入量	購入電力	MJ	26,560	20,397	19,905
	化石燃料	MJ	980	0	0
	新エネルギー	MJ			
② 総物質投入量	資源投入量	t			
	循環資源投入量	個	165	294	297
③ 水資源投入量	上水	m ³	15.9	3.0	3.0
	工業用水	m ³			
	地下水	m ³			
【④ 温室効果ガス排出量】	【二酸化炭素】	Kg-CO2 Kg-CO2	1,280	973	1,049
⑤ 化学物質排出量・移動量	大気への排出量	t			
	公共用水域への排出	t			
	土壌への排出	t			
	当該事業所の外への移動	t			
	70%回収、破壊量	t			
⑥ 工事件数及び設計等の	工事等の件数	件	158	87	94
	設計等の件数	件			
	環境負荷低減に資する設計	件			
【⑦ 廃棄物等総排出量】	再使用	個	6	7	6
	再生利用	個	341	287	341
	熱回収	t			
	単純焼却	t			
	その他	t			
⑧ 廃棄物最終処分量	最終処分量	t			
【⑨ 総排水量】	公共用水域	m ³			
	下水道	m ³	15.9	3.0	3.0

* ④温室効果ガス排出量 2013年は、中部電力の平成23年度の0.518を使用。

(2)環境への取組状況

【環境への取組の状況】

施策		チェック 結果の点	満点の点 数	実施度合 (%)	実施度合いの低い項目
1. 事業 活動への インプ ットに 関する 項目	1) 省エネルギー、 新エネルギー使用の 拡大	64	64	100	空調の適温化・必要区域・時間の限定 こまめな保守点検・非就業時の主電源 OFF
	2) 省資源	6	6	100	エコマーク商品、部品の再使用、素材の再 生利用が容易な製品の優先的購入、環境 に配慮した物品等の調達基準
	3) 節水、水の効率 的使用	0	0		トイレ・蛇口の節水こま取り付け
	4) 科学物質の抑 制、管理	0	0		化学物質の安全性の為MSDSにより管理
小計		70	70	100	
2. 事業 活動から のアウト プットに 関する項 目	1) 温室効果ガスの 抑制、大気汚染の防 止	6	6	100	排ガス規制・省エネ車・低公害車への切替 え、アイドリングストップ、適正なタイヤ空気 圧省エネ車・低公害車への切り替え、アイ ドリングストップ、適正なタイヤの空気圧
	2) 廃棄物の排出抑 制、リサイクル	16	16	100	リサイクルしやすい製品の購入
小計		22	22	100	
3. 製品及 びサービ スに関す る項目	1) グリーン購入 (環境に配慮した物 品等の購入、使用)	0	0		高APF機器の購入、提案
	2) 施工、販売、提 供する製品、及び環	0	0		高APF機器の購入、提案 環境にやさしい施行及び工法
小計		0	0		
4. 其 他	環境コミュニケーシ ョン	6	6	100	ホームページ上で環境に関する情報 を提供している
小計		6	6	100	
合計		98	98	100	

(3)環境目標

2014年 4月 10日

No.	環境目標	担当部門 (担当者)	ベンチマーク		中期環境目標			備考
			2010年度実績	基準(指標)	2013年度	2014年度	2015年度	
1	廃棄物削減	事務局 (佐藤)	リサイクル部品点数 (127点)	部品点数 =(110)	142点	145点	145点	2015年以降 前年レベル維持
2	環境情報の提供	事務局 (佐藤)	リユース部品の告知 リビルト部品の案内 コア回収の案内	実施回数 =(2回) =(2回) =(2回)	(2回) (2回) (2回)	(2回) (2回) (2回)	(2回) (2回) (2回)	(2回) (2回) (2回)
3	CO2目標数値		購入電力+石化燃料 合計	Kg/CO2	1205.5Kg/CO2	1205.5Kg/CO2	1205.5Kg/CO2	前年レベル維持
4	CO2排出量削減	事務局 (佐藤)	購入電力 総量(2899KW/h) 1359Kg/CO2		2,570kw/h 1205Kg/CO2	2,570kw/h 1205Kg/CO2	2,570kw/h 1205Kg/CO2	前年レベル維持
5	水使用量削減	事務局 (佐藤)	総量(16.0m ³)	総量/人数 =9.0m ³ /人	総量(6.0m ³)	総量(6.0m ³)	総量(6.0m ³)	前年レベル維持

* グリーン購入については、環境目標には設定しないが環境活動計画には折込み活動する。

■ 計画

No.	項目	重点項目	内容	担当													備考				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12					
1	廃棄物削減	ガスエアコン部品の リサイクル促進 協力店の拡大	コンプレッサ-のリサイクル スタータ-モーターのリサイクル 基板のリサイクル ヘッドシリンダ-のリサイクル リユ-ス部品のリサイクル	事務局 佐藤														コア回収を促進する			
					■			■	■								■				
					■			■	■										■		
					■			■	■										■		
					■			■	■										■		
2	環境情報の提供	協力店に対する 案内等	リユ-ス部品の告知 リビルト部品の販促 コア回収の案内	事務局 佐藤														定期的に情報提供する			
										■									■		
										■										■	
3	CO2排出量削減	購入電力削減	照明SWの適正管理 PC節電モード設定 照明の間引き 昼休みの消灯	事務局 佐藤	■	■	■					■	■	■				前年度並みに目標にする			
					■	■	■					■	■	■							
					■	■	■					■	■	■							
					■	■	■					■	■	■							
					■	■	■					■	■	■							
4	水使用量削減	事務所の節水	節水	事務局 佐藤	■						■						■	前年度並みに目標にする			

6 環境目標の実績

NO	項目	2013年度 目標	2013年度 実績	評価	
1	産廃物の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ガスエアコン部品のリサイクル促進 ・部品点数 142点 	<ul style="list-style-type: none"> ・部品点数 142点 	○	・前年比前年並み
2	環境情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・リユース部品の告知 年2回 ・リビルト部品の販促 年2回 ・コア部品の回収案内 年2回 	<ul style="list-style-type: none"> ・リユース部品の告知 年2回 ・リビルト部品の販促 年2回 ・コア部品の回収案内 年2回 	○ ○ ○	<ul style="list-style-type: none"> ・前年比前年並み ・前年比前年並み ・前年比前年並み
3	CO2排出量の削減 ①購入電力	<ul style="list-style-type: none"> ・CO2の排出量 1205.5KG/CO2 ・各所の節電 2570KWh 	<ul style="list-style-type: none"> ・CO2の排出量 1044.9KG/CO2 ・各所の節電 2025KWh 	◎	・削減している
4	水使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・水の節水 6.0m³ 	<ul style="list-style-type: none"> ・水の節水 3.0m³ 	◎	・削減している

:二酸化炭素排出量の算出に用いた購入電力の排出係数は、中部電力の平成24年度の排出係数(0.518)を使用した。
*水の使用量が減った要因として常駐社員が居なくなった為。

7 環境活動計画の取組結果とその評価・次年度の取組内容

	重点項目	主要な環境活動計画の内容	実施状況	評価	次年度の取組内容
CO2の削減	①購入電力削減	<ul style="list-style-type: none"> ・照明SWの適正管理をする ・各スイッチ節電シールを貼る ・PCの節電モード設定 ・必要のない個所の間引き(消灯) ・昼休みの消灯 	個々に実績報告	◎	前年度継続維持管理項目とする
				◎	
				◎	
				◎	
				◎	
廃棄物	①ガスエアコン部品のリサイクル促進 ・部品点数	<ul style="list-style-type: none"> ・コンプレッサーのリサイクル ・スタータモーターのリサイクル ・基板のリサイクル ・ヘッドシリンダーのリサイクル ・リユース部品のリサイクル 	リサイクル意識は徐々に高まっている 数値的なものは、修理料に左右される	○	前年度継続維持管理項目とする
				○	
				○	
				○	
				○	
水使用量	①事務所の節水	・蛇口の適正な開閉	常に意識して実施している	◎	前年度継続維持管理項目とする
環境状況	①協力店の案内等	<ul style="list-style-type: none"> ・リユース部品の告知 ・リビルト部品の販促 ・コア回収の案内 	告知、案内は集合教育時実施できている 定期的な在庫の案内 特定機種のコア回収 キャンペーン実施	○	告知案内の充実を図る。
				○	
				○	
				○	
グリーン購入	①グリーン購入に実加	・コピー用紙等の購入	率先して購入している	◎	特に問題なし

(3) その他の取組結果の評価

全体的に環境に対する理解が高まっています。
空調温度設定、照明の消灯、も徹底できています。

8 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規への違反はありません。尚、関係当局よりの違反等の指摘や訴訟等は、過去5年間ありません。

(2) 環境関連法規制等一覧表/遵守状況確認表

2014年4月10日
作成者 佐藤

NO.	法規制等名称	遵守事項	資格/許可	適用を受ける設備、活動等	担当	確認
1	廃棄物処理法	<事業系一般廃棄物> ・業者廃棄物 ・分別処理 <産廃廃棄物> ・適正な保管(飛散、油類の流出防止等) ・業者委託処理の書面契約(運搬、処理) ・マニフェスト伝票処理に、A,B2、D,E票の5年間保管 B2、D,E票が返却されなかった場合の知事への報告 ・産業産廃物管理表交付等状況報告 ・保管場所の表示 ・リサイクルの促進		・事務所の廃棄物 ・倉庫の段ボール箱の再利用 ・不良品のリビルト化	事務局 佐藤	4月10日
2	化学部質管理促進法 ・PRTR制度 ・MSDS制度	有害又は有害の恐れのある化学物質の適正管理 ・常用雇用者21人以上の事業所 ・第1種指定化学物質(354物質、1t/年以上) の取扱い届出(毎年) ・化学物質等安全データシート(MSDS)の提出又は入手 ・対象化学物質の取扱い管理	危険物乙種	・該当なし ・エンジンオイル、クーラントの販売をしているが、メーカー直送している為 該当しない。 ・MSDSは、入手済み	事務局 佐藤	4月10日
3	フロン回収・破壊法	冷媒用フロン回収、破壊装置 ・届出 ・冷媒フロン回収技術者	個人資格	・講習会にてフロンの取扱説明実施 ・講習会参加企業は、全社回収事業所 ・講習会参加者の殆どが資格所得者で 未所得者には、取得を勧めている。	事務局 佐藤	4月10日

法規は、毎年1月に確認し、常に新しい法規にて確認出来る体制にします。

9.代表者による全体評価、見直し結果

全体評価

エコアクション21所得(認証登録日、2008年6月13日、認証登録番号、0002579)第4回更新期を迎えることになり、環境問題に取り組み過去を振り返り、少人数組合員で協同組合法の傘下で限られた活動でありましたが、認証、登録、対象活動範囲の「ガスエアコンの定期点検・修理業務・設置業務の共同受注、受注斡旋、共同購入、リビルト部品、リユース部品、その他GHP副資材・関連部材の販売」を中心に又、未所得組合員に対してもその都度、環境方針への取り組みを目指す環境意識高揚にも一定以上の成果と協力理解があり、組合員企業の事業活動にも役立つものと感じています。

見直し

環境管理責任者を新たに任命した2年でありましたが、全体の環境方針、目標を理解し積極的に取り組む管理体制強化の再構築にも一歩進んだと感じています。
変わりゆく環境変化の取り組みとしては、明確な管理重点策の検討が必要と感じます。
又、本年2014年4月1日より、ヤマハ発動機(株)製ガスエアコン(GHP)補修部品の全国販売を託され第1回販売開始いたしました。
従来より以上の環境意識、活動の再構築を図りこの先の努力目標の一つと考えます。
尚、環境方針、環境目標、環境活動計画等については、変更の必要が無いと判断しました。

2014年4月17日
代表理事 辻村 勝